こどもとしょかんニュース

H28・11・12月号　No.359

もののしくみ・はじまり

ふだんよく利用するもの，見かけるものには，どんな歴史があるのかな。また，しくみはどうなっているのかな。もののしくみや，はじまりについて知ることができる本を紹介します。

☆乗り物のはじまりや歴史がわかる☆

『ゾクゾク「モノ」の歴史事典 8
のるの巻』
ゆまに書房　03ゾ

☆自動改札や自動販売機などの気になるなかみの図や写真がたくさん☆

『透視絵図鑑なかみのしくみ　まちなか』
こどもくらぶ/編さん　六耀社　50ト

☆よく使うものができあがるまでをイラストで紹介☆

『絵解き図鑑　こんなふうに作られる！
身のまわり69品のできるまで』
ビル＆ジム・スレイヴィン/文　ビル・スレイヴィン/絵
福本 友美子/訳　玉川大学出版部　50ス

☆身の回りのいろいろなぎもん☆

『楽しく遊ぶ学ぶ ふしぎの図鑑
（小学館の子ども図鑑プレNEO）』
白數 哲久/監修　小学館　40タ

図書館ミニ知識 ～書庫について～

総合図書館の4階には，「書庫」といって，本を保管する場所があり，古くなった本などをしまっています。館内の検索機などで調べたときに，「配架場所」のらんに「閉架書庫」と書かれているものは，書庫にしまわれている本です。書庫には，見学ツアーなど特別な時以外，図書館の人しか出入りできません。書庫の本を読みたいときは，カウンターで申し込んでください。受け付けは，図書館が閉まる1時間30分前までです。

福岡市子ども読書フォーラム ～あそびにおいで！本の森～

おはなし会や，おすすめの本の紹介・展示など，読書がもっと楽しくなるもよおしがたくさん。赤ちゃんから中学生・高校生，大人も楽しめます。ぜひ遊びに来てくださいね。

日時：12月3日(土)午前11時から午後4時まで
場所：アミカス(南区高宮3丁目3－1)　※参加無料
問い合わせ：福岡市教育委員会 生涯学習課
（電話092-711-4655）

クリスマス特別おはなし会

日時：12月18日(日)午後2時から午後3時10分まで
場所：総合図書館3階　第1・2会議室　無料。
どなたでも参加できます。

こども図書館の本の展示

11月　「宇宙」
12月　「やってみよう，つくってみよう」

年末年始のお休み

図書館は12月28日(水)から1月4日(水)までお休みです。

金印ユニバーサル博物館 3 ～さわる福岡の歴史とくらし～

さまざまな博物館の資料を見て，ふれて楽しもう！
金印や青銅器のレプリカ，郷土玩具などを展示します。
場所：福岡市博物館
日時：11月3日(木・祝)～12月11日(日) 9:30～17:30(月曜日はお休み)
観覧料：参加無料　問い合わせ先：電話092-845-5011

あたらしい本のしょうかい

幼児から

『かげはどこ』
木坂 涼/ぶん
辻 恵子/え
福音館書店　Eカ

幼児から

『とりがいるよ』
風木 一人/作
たかしま てつを/絵
KADOKAWA　Eト

小学一・二年生から

『ハンドトーク ジラファン』
門 秀彦 / 作
小学館　Eハ

小学三・四年生から

『菌ちゃん野菜をつくろうよ！』
あんず ゆき / 文
佼成出版社　627

小学三・四年生から

『透明犬メイ』
辻 貴司/作
丹地 陽子/絵
岩崎書店　913ツジ

小学五・六年生から

『これから戦場に向かいます』
山本 美香 / 写真と文
ポプラ社　31ヤ

小学五・六年生から

『ルイ・ブライユと点字をつくった人びと』
高橋 昌巳/監修　こどもくらぶ/編　岩崎書店　37ル

この本は，大きく2章に分かれています。1章では，点字がつくられ，どのようにして今のように広く使われるようになっていったかをルイ・ブライユ，石川倉次という二人の人物の伝記を通して教えてくれます。ルイ・ブライユは，フランスの盲学校の生徒で，もともとフランスの軍人が暗号として使っていた点字を改良して今の点字を生みだしました。また，その点字を日本のかな文字におきかえたのが石川倉次で「日本点字の父」といわれている人です。

そして，2章では，点字を書くための道具や点字の本，身の周りでみられる点字について書かれています。身近なところで見かけるようになった点字について，くわしく知ることができる1冊です。

毎月23日は 福岡市子どもと本の日

福岡市総合図書館
〒814-0001　福岡市早良区百道浜3-7-1　☎092(852)0600
ホームページアドレス http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/